

冬期間の水道メータ 検針について



石田克男議員

【質問】飯山市においては、冬期間降雪のため、水道メータの検針を行わず、見込みで請求を行っていた。したがって、春になり検針を再開し、冬期間に漏水があると高額な請求が発生する。請求金額の減免はあるが、飯山市にとっても、市民にとっても不利益なので、通年検針できないか伺いたい。

【答弁】遠隔メータは高額であり、また、計量法により8年ごとに取替えという規則もある。水道使用者への負担が大きくなるので、飯山市としては、積極的に取り替えて検針することは考えていない。

◇公園整備と体験館の充実について
【質問】木島平村や中野市には、家族連れで一日中遊んでもあきないくらい遊具の整った公園や遊園地があり、また子供たちが遊びながら学習できる体験館もある。飯山市にも作ってもらいたい。

【答弁】飯山市には現在、長峰運動公園の一角に遊具がある。もう少し家族で楽しめるような遊具や

芝生の広場を整備したい。また、体験館については、北信広域連合で中野市の「北信濃ふるさとの森公園」に作つてあるのでそこを利用できる。



常盤小学校音楽会

◇芝生のグラウンドについて

【質問】飯山市のちびっ子サッカー選手も毎日練習に励んでいる。しかし、飯山市には芝生のグラウンドが無い。作ってもらえないか。

【答弁】近隣市町村の設置状況や設置費用、また観光への波及効果など調べながら対応したい。

安心・安全な まちづくりを!!



渡邊吉晴議員

ことが望ましいと思うかがか。

【答弁】プライバシーの問題もあり、市長個人としては防犯カメラも無く安心して歩けるまちづくりを望むが、住民と話し合いを持って進めたい。

【質問】観光問題の取り組みについて、3月11・12日の大震災により各観光地の客足がすべて止まり、キャンセルが相次ぎ、特に斑尾高原においては大変大きな問題となつている。個人や一観光協会で飯山地域は心配ないからと申し上げても力不足のため、誘客が難しく、市を挙げて誘客に手を打ってほしいとの声があったが、行政としてこの件をどう考えているか伺いたい。

【答弁】現在も誘客に努めているが、来年一月のスキー百周年に向けての誘客と共に進める。

【質問】山間地域の消防団組織の見直しを、大災害に向けて早急にやらなければと思うかがか。

【答弁】消防団組織について特に八分団富倉地区は、地すべり地区でもあり、冬の除雪の問題もあり、消防団と話し合いを持って検討したい。



現在の飯山駅前

災害から生命を守る 防災と福祉の街づくりを



渡辺美智子議員

【質問】公共施設の耐震診断及び改修進捗状況を聞きたい。

【答弁】昭和56年以降に建築された避難施設はすべてクリアしている。それ以前のもものは、改築工事が進んでいる。それ以外は移転改築、除却になる。

【質問】ひとり暮らし及び高齢者のみの世帯の皆さんに安心の生活の場を。今回の地震で自宅に二人でいる不安から避難された人。この人たちの安心、安全の場として各人が出来る事をして生活する場をつくれぬか聞きたい。



デイサービスで皆さんとおしゃべり

【答弁】現状を把握して災害時における高齢者の生活の場として集落単位で話をし、必要とあれば市としても考慮する。

◇子どもの医療費無料化に向けて
【質問】子育て中のお母さんから「窓口無料の実感がない。考え直して」の声が。手数料500円はどこにどう使われているのか。また500円を少ししか超えない時でもこれを払う事の見解を。また、レセプト毎にかかる手数料について、県内の実態は、無料の原村、そして300円の所が1市29町村。この実態も考慮して検討をすべき。

【答弁】500円については医療費の一部と考えられる。医療機関、県国保連合会、市町村に制度運営に要する費用として徴収。

◇市民の交通手段について

【質問】菜の花タクシーは喜ばれている。一方で予約する大変さがある。その場所に、時間に行けば乗れるバス方式に出来ないか。

【答弁】業者の人も相談し経費のバランスも考えて基本的には高齢者が使いやすいものへ見直ししていく。

福祉と防災に強いまちづくりと 平成22年度決算見込みについて



小林喜美治議員

◇地域防災計画の見直しについて
【質問】今回の震災と原発事故は、国難ともいわれる事態であり、国の政治のあり方、政治的対応の弱点を根底から明らかにしたものである。この大震災を教訓にして、社会福祉・社会保障が守られる地域防災計画への見直しが必要と思う。現在ある飯山の地域防災計画の見直しが必要と思うが、その見解を伺いたい。また、市内の自主防災組織の組織状況と、避難訓練などの実施状況はどうか。原発事故への対応についても伺いたい。

【答弁】これまで経験したことのない未曾有の大震災であった。こうした時一番責任があるのは市町村であり、市民生活に直結している。市民の生命・財産をしっかりと守るのが任務である。飯山市においても地域防災計画はあるが、原発事故に対するものが上がっていない。今度の災害を契機に、防災計画の手直しも検討したい。

ているが、22年度の決算見込みとの特徴、事業の執行状況や繰越金の状況など、どのようになっているのか見解を伺いたい。

【答弁】まだ確定はしていないが、一般会計において歳入、歳出で8億円ほどの差引残があり、次年度への繰り越し財源を差し引き、繰越金として6億円程度の見込みを立てている。6月補正の予算時点では、補正財源は3億円程度を見込んである。



市内の災害時の避難施設を表示する看板